

お礼とお詫び

9月6日深夜3時7分ごろに胆振地方中東部を震源として発生した地震（北海道胆振東部地震）のため北海道全域が停電となりました。

当院では、即刻災害対策本部を立ち上げ、北海道医療センターの医療機能維持に務め、かつ緊急・救急患者の受け入れ体制を整えると同時に、DMAT隊を1隊派遣しました。

北海道医療センターは北海道地域災害医療拠点病院・札幌市災害時拠点病院としての役割を果たすため、一方では、通常の外来診療を制限することにいたしました。また、一部の予定手術を延期させていただきました。この体制を取ることによって、人工呼吸器装着の患者さん20名超の入院、透析患者さん70名超の血液透析が可能になりました。緊急手術も無事実施することができました。

これらのことで当院患者のみなさまへは多大なるご迷惑をおかけしましたが、当時の状況および当院の役割をご理解いただき、暖かい励ましのお言葉とご協力をいただきました。ここに、こころから感謝を申し上げます。

なお、10日（月）からは通常の診療体制に戻ります。6日（木）、7日（金）の一般診療制限による影響がしばらく続くかと思えます。ご不便をおかけすることがあるかと存じますが、何卒、ご理解・ご協力いただくようお願い致します。

平成30年9月8日
国立病院機構北海道医療センター
院長 菊地誠志